



会社名 J.フロント リテイリング株式会社  
 コード番号 3086  
 代表者名 代表取締役会長兼最高経営責任者  
 奥田 務  
 お問合せ先 経営計画事業統括部  
 グループ広報・IR担当  
 TEL 03-6895-0178

## 2011年9月度 J.フロント リテイリング 連結営業報告

### 1. セグメント別売上高（対前年増減率：％）

	9月度
百貨店業	0.9（ 1.5 ）
スーパーマーケット業	▲ 7.5
卸売業	5.4
その他事業	4.1
連結合計	0.2

（注）百貨店業合計の（ ）内は博多大丸長崎店（2011年7月31日営業終了）を除く既存店ベース。

### 2. 売上高概況

#### 1) 百貨店業

- ・ 9月度の百貨店事業の売上高は、台風によるマイナス影響を大きく受けたものの、梅田店が引き続き大きく売上を伸ばし牽引したほか、ラグジュアリーブランドや絵画・時計など高額品も好調に推移し、秋のファッション衣料雑貨も月下旬になって活発に動いたことなどから、大丸松坂屋百貨店合計では対前年 2.8%増、関係百貨店を含めた百貨店事業合計では同 1.5%増となった。なお大丸松坂屋百貨店、百貨店事業ともに6ヶ月連続で前年実績を上回った。

#### 2) スーパーマーケット業

- ・ ピーコックストアは、9月上旬に改装オープンした白楽六角橋店や、改装効果が持続するニッケコルトンプラザ店、藤沢トレアージュ白旗店、高野台店などが好調に推移したものの、閉鎖店舗（みさと店、片倉町店など計3店舗および1事業所）の影響や前年のたばこ値上げ前の需要増の反動もあり、対前年▲7.5%減となった。地区別では、首都圏が対前年▲7.2%減、関西地区が同▲7.1%減、中部地区が同▲6.0%減であった。

#### 3) その他

- ・ 卸売業の大丸興業は、化学品や電子デバイスの好調により対前年5.4%増となった。
- ・ その他事業は、JFRカード、JFRオンライン、ディンプルが好調であった。

お問合せ先	J.フロント リテイリング株式会社	グループ広報・IR担当
	TEL	03-6895-0178
	FAX	03-6674-7565

## 2011年9月度 百貨店業 営業報告

### 1. 売上高および入店客数（対前年増減率：％）

	9月度	
	売上高	入店客数
大丸 心齋橋店	▲7.2	▲9.3
大丸 梅田店	78.6	124.9
大丸 東京店	▲2.5	▲1.1
大丸 ららぽーと横浜店	8.4	-
大丸 浦和パルコ店	2.0	-
大丸 京都店	▲1.9	▲2.5
大丸 山科店	▲1.8	-
大丸 神戸店	▲5.3	▲6.3
大丸 新長田店	▲4.4	-
大丸 須磨店	▲4.5	-
大丸 芦屋店	1.0	-
大丸 札幌店	5.3	5.1
松坂屋 名古屋店	2.4	6.1
松坂屋 上野店	0.2	1.5
松坂屋 静岡店	▲0.2	4.2
松坂屋 銀座店	▲18.9	▲18.6
松坂屋 高槻店	▲4.3	5.0
松坂屋 豊田店	6.8	1.4
<b>大丸松坂屋百貨店合計</b>	<b>2.8</b>	<b>11.9</b>
博多大丸	▲7.5	▲8.0
下関大丸	▲8.6	▲14.8
高知大丸	▲0.4	▲1.5
<b>百貨店事業合計</b>	<b>1.5</b>	<b>-</b>

(注) 合計の前年は、博多大丸長崎店（2011年7月31日営業終了）を除く。

前年に博多大丸長崎店を含めた百貨店事業の増減率は、対前年0.9%増。

### 2. 大丸松坂屋百貨店直営店 商品別売上高（対前年増減率：％）

	9月度
紳士服・洋品	4.8
婦人服・洋品	1.6
子供服・洋品	3.2
その他の衣料品	▲3.6
衣料品計	1.9
身回品	1.2
化粧品	▲0.4
美術・宝飾・貴金属	6.8
その他雑貨	▲7.3
雑貨計	2.1
家具	▲5.8
家電	▲13.9
その他の家庭用品	8.1
家庭用品計	3.3
生鮮	2.9
菓子	1.2
惣菜	9.0
その他食料品	10.0
食料品計	5.2
食堂・喫茶	6.5
サービス	▲22.7
その他	4.4
合計	2.8

### 3. 売上高概況

婦人服・洋品は、ラグジュアリーブランドが牽引し、梅田店増床効果などによりヤング・ヤングアダルトファッションも好調であった。紳士服・洋品は、薄手のコートやニットなど秋物衣料が活発に動いた。身回品は、婦人ショートブーツや旅行かばんなどが伸ばした。雑貨は、美術品・時計などの高額品が好調に推移した。食料品は、北海道物産展などの催事が盛況であった。